

## 〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、19.5～23℃台を示し、やや低い～平年並み水温でした。

## 〔漁況概要〕

- 中小型まき網――月夜間とシケで出漁日数が少なかった。西彼地区では、カタクチが1日1統当たり3トンの水揚げで、前週の60%（前年並み）。五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり0.4トンの水揚げで、前週の13%（前年を下回った）。北松南部地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり7トンの水揚げで、前週の70%（前年並み）。橘湾地区では、カタクチイワシが1日1統当たり10トンの水揚げで、前週の1.4倍（前年を上回った）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり11kgの水揚げで、前週の48%（前年並み）。壱岐勝本地区では1日当たり426kgの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり34kgの水揚げで、前週の59%（前年並み）。壱岐勝本地区では1日当たり998kgの水揚げで、前週の約2倍（前年を上回った）。五島奈留地区では、1日1統当たり2kgの水揚げで、前週の33%（前年を下回った）。
- 定置網――五島魚目地区では、ブリなどが1日1統当たり104kgの水揚げ。5月31日で、今期の漁を終了した。北松生月地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり1.1トンの水揚げ。対馬西岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり244kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり498kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、イサキが1日当たり728kgの水揚げで、前週の2倍（前年の2倍）。野母地区ではマアジが1日1統当たり17kgの水揚げで、前週の1.4倍（前年を上回った）。

## 〔日本海スルメイカ情報〕

今期（5/25～5/30）6日間の沖合イカ釣り船、船凍船は赤イカ漁へ出漁した。

沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐海峡～鳥取沖～兵庫沖～能登半島～山形沖にかけて出漁した。

境港基地の小型イカ釣り船 3日延4隻、総計175箱、1航海最高90箱、平均43.6箱、スルメ（25・30・40入）175箱。

（漁業情報サービスセンターより）